

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラス・ワン各務原			
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 2日		～	令和 6年 12月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 2日		～	令和 6年 12月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育活動は毎月職員が考案し、多種多様の活動に取り組めるプログラムを組んでいます。	・毎日利用する児童であっても、日々違った療育活動に取り組めるため、飽きることなく通うことが出来ます。 ・様々な活動に取り組む中で、新しく興味のあることを増やしたり発見できることを目的としています。 ・苦手を出来るに変えられるよう、個々に合わせて目標を決めています。	・ゆくゆくは個別療育へも発展していきたいと考えています。
2	保護者間の連携を充実させております。 困りごとはすぐに相談できるように配慮しています。	・送迎時や連絡帳を使ったやり取りを基本としていますが、SNSや電話でもご相談に応じております。個別で面談での相談も随時お受けしています。	・モニタリング時期以外でも、必要に応じてご相談をお受けします
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の放課後児童クラブや放課後子供教室と連携ができていない	現在、放課後児童クラブと放課後等デイサービスを併用している児童はおりません。以前、長期休暇のみ併用している児童がいましたが、密な連携は取れておりませんでした。	今後は、該当児童が出てきた際には、すぐにごちから連携を取るように配慮していきたいです。
2	高校卒業後に向けた取り組みの準備ができていない	プラス・ワンでは中学2年生の児童が一番学年が高いため、現状で該当児童はおりませんが、今後のためにも早めに準備しておく必要があると考えています	課後等デイサービスでは原則として高校卒業まで施設を利用できるということになっているため、高校生に対しての療育（作業）活動の準備や検討をして備えておきたいです。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		プラス・ワン各務原		公表日		令和 7年 1月 29日	
		チェック項目	はい	いいえ / わからな	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15		法令に遵守したスペースを確保しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	15		子どもの人数に対し、職員数は適切な人員配置を心掛けております。	子どもの特性や活動内容等によっては、子ども2人に対し、職員が1人では少なく感じることも稀にあるため、利用児童数ではなく、特性に合わせて人員配置を検討していきたいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	3	配慮が必要な児童は、第2教室の1階を利用することで、バリアフリーでの生活が可能となっています。	(いいえ) 2階はエレベーターがないため、バリアフリーとはならない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15		毎日の清掃を実施し、室内温度や湿度にも気を付けております。 また、活動に合わせて机等のイアウトを変えたりと工夫をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	1	個別の部屋を1部屋設けております パーテーション等を使用し、複数必要な場合に対応しています	個別の部屋が1部屋あるが、もう少し個別の部屋や場所があってもよいように感じる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15		職員間で定期的に会議を実施し、振り返り、業務改善を行っています。会議では参加職員全員が意見を述べられる雰囲気づくりに配慮し、意見交換を積極的に行える場になっております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		保護者の意見や以降は、年に一回、アンケート調査を実施し（12月頃）、回答結果を職員周知、また職員会議を実施。業務改善につなげております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		保護者評価集計後は結果を情報共有し改善事項があれば検討議題とします。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		15	第三者外部評価をまだ受けていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15		職場内研修の実施、職場外研修を受けた職員による職員周知をしております。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15		HPにて好評しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15		日々アセスメントを実施し、サービス計画書を作成しています。 個々の子どもに対して、主にモニタリング対象児を毎月の会議の議題に挙げアセスメントをしております。保護者とのモニタリング実施後、個別支援計画書作成案時に職員で話し合い、計画書を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15		職員間共有を実施した上で支援を行っております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15		標準化されたアセスメントツールを使用しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15		具体的な支援内容を記載し、支援計画に設定しております。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	2	職員会議等で活動プログラムの立案を行っています。	担当やチームは組んでいない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		職員会議等で活動プログラムの立案を行っており、毎月様々な療育活動を取り組めるよう配慮しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	3	子どもの個々の状況を踏まえ、随時計画しております。個別対応が必要な場合にに応じて対応しております。	(いいえ) 集団療育が基本で個別の対応は行っているが、個別療育はあまり実施されていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15		前日や当日に療育活動内容の伝達。ねらいや注意点を情報共有し、役割分担を決めて実施しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		15	職員の退社時間が異なるため、翌日の子ども預かり前に、職員会議を実施し振り返りをしております。休みの職員は会議記録をみて振り返りを行います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15		日々、個別支援記録を記録しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15		職員会議で実施しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	15		日々の療育活動で、日常生活、自立に向けての活動、多様な体験、主体的に参加できることを取り入れています。長期休暇や休日利用時の外出活動で地域のイベントに参加する等、地域交流を図るようにしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	2	デイ利用日は曜日等で固定していないため、興味のある活動や好きな活動を選択することが出来ます。また、活動の中で役割分担をつける際には、希望を取る等、子どもたちの選択を決める内容を取り入れています。	療育活動は原則全員参加となっているため、取り組む、取り組まないの選択ができない。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15		招集された際には、当施設の児童発達支援管理責任者が参加いたします。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15		いつでも連携が取れるよう体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15		学校と電話や送迎時にお話の機会を頂きます。また、学校からの配布プリント（年間計画・下校確認表）を閲覧させて頂いて確認しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	5	連絡が取れる準備は行っておりますが、実施しておりません。今後、検討していきます。	(いいえ) 保育園との情報共有をしているか判らない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		15	現在、該当者がおりません。	今後のために、準備態勢を整えます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	14	同一事業所に相談支援員もあり、適時助言を受けられる体制になっております。県が主催する研修に参加しております。	スーパーバイザーやスーパーバイザーによる研修を設けていないため、今後検討していきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	10	地域のイベントや催し物には積極的に参加しています。長期休暇、土曜日の外出時に外出先で他児童と関わりを持って遊ぶ姿も見られます。	(いいえ) 児童クラブや地域の子どもの関わりはやっているのか判らない
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		15	参加しておりません。機会があれば参加したいと考えております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15		連絡帳や送迎時に保護者の方と対面した際、またメールで随時連絡が取れる状況を作り、共通理解を持てるよう心がけています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	3	保護者様より相談をお受けした際には、可能な限りの支援を行っております。研修を積極的に参加し、職員周知しております。	(いいえ) ペアトレは実施しているところを見たことがない。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	2	契約時にご説明させて頂いております。施設内に運営規程や支援プログラムを掲示しており、いつでも閲覧できる環境にしております。	(いいえ) 利用者負担の内容を詳しく知りません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15		子どもの意見は利用時に聞き取りをしています。保護者へは、モニタリング時や相談等が合った場合に個別でお話を伺っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15		はい、実施しております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		保護者様より相談をお受けした際には、可能な限りの支援を行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	14	1	保護者会は、新型コロナウイルス感染症が第五類に移り感染拡大が緩和された、令和4年度から毎年実施しております。現在、保護者会できょうだいを連れて来所された保護者がおらず、交流の機会がございません。	(いいえ) 保護者会で兄弟児をつれてきた保護者がおりません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		苦情受付者、解決責任者を選定しております。苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応させていただきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15		2か月に1回のお便りの発行しています。ホームページではブログを掲載したり、SNSでも日々の活動を不定期にはありますが、発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		個人情報書類は施錠されている棚に保管しております。職員には誓約書。保護者様へは契約書、重要事項説明書等に記載しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15		現在、言語障害児の利用がございません。発語は不十分な児童に対しては、絵や見本で示したりわかりやすい単語で意思疎通を行っています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		15	行っておりません。	事業所の行事へ招待する等、実際に行っている事業所さんがあれば、ぜひ勉強に行き、参考になりたいと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15		マニュアルの作成、職員・保護者様への配布をしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15		BCPを策定しております。平常時の避難訓練も、今年度の避難訓練は地震想定、火災想定を各2回実施しました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15		契約時に保護者へ直接お伺いするほかに、アセスメントシートの記入をお願いしており、その中に記載しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			医師の指示書はございませんが、保護者様と食事提供に関するアレルギー（除去）食申請書をかわし、誓約書に基づきおやつ等の提供を実施しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15		安全計画に基づき、研修や訓練を実施しています。また、保護者がいつでも確認できるよう、玄関先に安全計画の冊子を設置しております。	研修回数を増やしたり、児童発達支援と連携した訓練の実施を今後検討していきたい
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		ヒヤリハット事故が起こった場合、報告記録し、職員間で共有いたします。ヒヤリハットの事例検討も会議等で実施していきます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15		虐待に関する研修を年1回実施しています。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	契約時、また個別支援計画書作成時に保護者へ説明し了承を受けております。身体拘束の研修を年に一回実施。身体拘束に繋がる恐れのある事例も記録に残しております。（子ども同士のトラブルにてたき合いが合った場合、双方を（または一方を）抱き留め静止した。等）	
--	----	--	----	---	--